

A 家族と家庭生活

「自分の成長と家族・家庭生活」学習指導案

1 学習課題

「よりよい家庭生活を営むために、中学生の自分たちはどのようなことができるだろうか」

A(1)ア、(3)ア(7)

2 目標

① 自分の家庭生活を振り返り、家庭生活の問題点を見付け、中学生の自分ができることを考える。

3 準備物 事前アンケート資料、プレゼン、PC、大型TV、ワークシート

4 本時の展開

学 習 内 容	時 間	学習活動 (主な発問と予想される生徒の反応)	指導上の留意点 ● 評価
1 家庭生活についての 問題点に気付く。	5 10	○家庭の仕事にはどんな仕事がありますか ・食事の支度、食事の片づけ、洗濯、掃除等 様々な仕事がある ○様々な家庭の仕事は誰がしていますか ・中学生がよくしているのは食事の片づけ、 あまりしないのは洗濯、アイロンかけだ ・よくしている家事でも40%程度である ・女子の方がやや多くしている ・ほとんどの家事は母または祖母がしている ・共働き夫婦が増えているので女性の負担が 大きい	・家族・家庭の基本的な機能について理解させる。 ・自分の家庭生活についても振り返らせる。 ・松山市内の中学生のアンケート結果をもとに、問題点を考えさせる。 ・家庭の仕事の多くは女性が担っていることに気付かせる。
2 社会的背景を知る。	10	○時代の変化や家族形態の変容について知る ・家庭生活の在り方や意識、社会背景も変化してきている ○家庭の仕事を支える社会の制度やサービスにはどのようなものがありますか ・保育園や介護施設、弁当宅配サービスなど、様々な社会的な支援がある ・法律の整備はできているが実際にはまだ男女共同参画社会の実現はできていない	・固定的性別役割分担意識から男女共同参画へ変化していることを理解させる。 ・法律や施設、サービスなど社会と家庭生活の関連を理解させる。 ・アンケートの市民の声を参考に考えさせる。
3 将来の自分について 考える。	15 個 ↓ 小 集 団	○20年後(33歳)の時に自分はどのような家庭生活を送りたいですか ・家事も子育ても意思決定も男女平等で行いたいという意見が多い ・自分が家庭を持ち、子育てをする立場になったら男女で平等に家事や育児をしたいな	・松山市内の中学生の意識調査結果を参考に考えさせる。 ・将来の自分をイメージさせ、具体的に考えさせる。 ・小集団や全体で意見交換を行い、考えを深めさせる。
4 まとめ 今、自分にできることを考える。	10	○よりよい家庭生活を営むために、家族の一員として今、自分にできることは何ですか ・将来のためにも今自分でできる家事をする ・今の家族の問題点を話し合い、協力できることはすすんで行うようにしたい ・男女を問わず協力して家庭生活を送ることが大切だな	・家族の協力や助け合いが必要であることを理解させる。 ●男女共同参画社会の実現に向けて、よりよい家庭生活を送るために今自分ができることを具体的に考え、工夫することができたか(ワークシート)